



<WINDEL コマンド>

プロセッシングからウィンドウ内の領域を取り除きます。複数のウィンドウ領域を指定できます。(最大 50)
このコマンドは、WINDOWCUT モードに従って、外側あるいは WINDEL 座標ラインを横切るデータを維持します。
CHECK-MODE=FLAT あるいは HIER を使用してチェックする場合、ルールファイルで WINDOW-CUT=EDGE
を指定しない限りは、コマンドは WINDEL 座標ラインを横切るデータを維持します。CHECK-MODE=CELL
あるいは COMP を使用してチェックする場合、WINDOW 座標ラインを横切るレイアウトは、ルールファイルで
WINDOW-CUT=TRAPEZOID を指定しない限りはカットされます。WINDOW コマンドは、インスタンスや
テキストではなく、ポリゴンデータで動作します。

シンタックス

WINDEL = xmin ymin xmax ymax

xmin : プロセッシングから取り除くウィンドウの最小 x 座標
ymin : プロセッシングから取り除くウィンドウの最小 y 座標
xmax : プロセッシングから取り除くウィンドウの最大 x 座標
ymax : プロセッシングから取り除くウィンドウの最大 y 座標

例)

*DESCRIPTION

WINDEL = 0.0 0.0 10.0 10.0

WINDEL = 0.0 10.0 10.0 20.0

<WINDOW コマンド>

このコマンドは処理するウィンドウを指定します。複数のウィンドウ領域を指定できます。(最大 50)
このコマンドは、WINDOWCUT モードに従って、内側あるいは WINDEL 座標ラインを横切るデータを維持します。
CHECK-MODE=FLAT あるいは HIER を使用してチェックする場合、ルールファイルで WINDOW-CUT=EDGE
を指定しない限りは、コマンドは WINDOW 座標ラインを横切るデータを維持します。CHECK-MODE=CELL
あるいは COMP を使用してチェックする場合、WINDOW 座標ラインを横切るレイアウトは、ルールファイルで
WINDOW-CUT=TRAPEZOID を指定しない限りはカットされます。WINDOW コマンドは、インスタンスや
テキストではなく、ポリゴンデータで動作します。

シンタックス

WINDOW = xmin ymin xmax ymax

xmin : 処理するためのウィンドウの最小 x 座標
ymin : 処理するためのウィンドウの最小 y 座標
xmax : 処理するためのウィンドウの最大 x 座標
ymax : 処理するためのウィンドウの最大 y 座標

例)

*DESCRIPTION

WINDOW = 0.0 0.0 10.0 10.0

WINDOW = 0.0 10.0 10.0 20.0



<WINDOW - CUT コマンド>

WINDOW - CUT コマンドは、WINDOW あるいは WINDEL コマンドで指定された座標ラインを横切るポリゴンの領域を維持あるいはカットするかどうかをコントロールします。

シンタックス

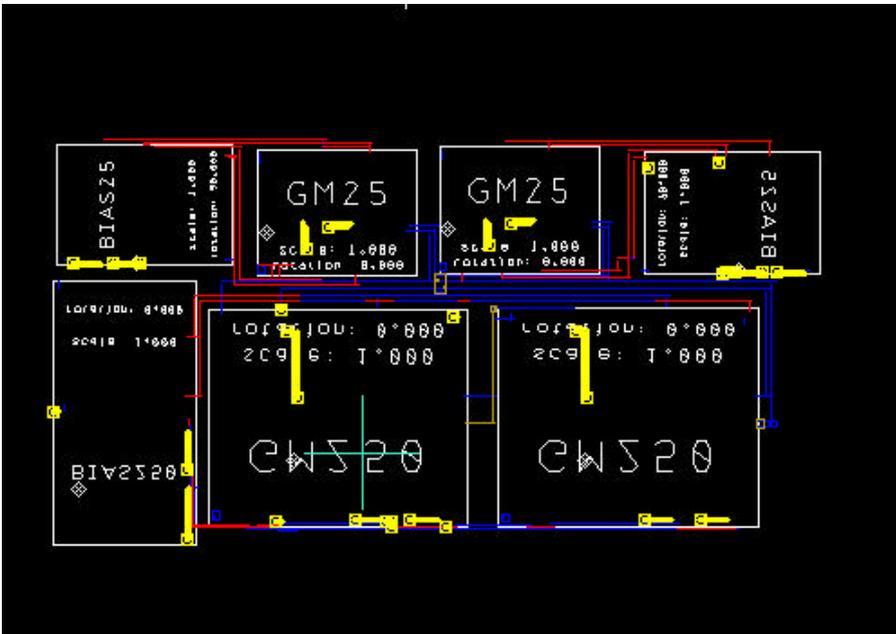
WINDOW-CUT = [TRAPEZOID | EDGE]

TRAPEZOID: ウィンドウバウンダリを横切る場合、ポリゴンを維持します。FLAT 及び HIER チェックモードに関しては、これがデフォルトです。

EDGE: WINDEL コマンドが指定された場合、ウィンドウエッジにそってポリゴンをカットし、一部分を外側に維持します。CELL 及び COMP チェックモードに関しては、これがデフォルトです。

通常の DRC 結果

*黄色部分は DRC エラー箇所



WINDOW、WINDEL コマンドを使用した DRC 結果

